

ホスピス 緩和ケア週間 In Tokushima 2020



2020年10月4日(日)～10月10日(土)

ご挨拶

オレンジバルーン

ようこそパネル展にご入場いただきました。

今年の緩和ケア週間は世界ホスピス緩和ケアデーと連動し10月4日から10月10日の間、開催されます。徳島での開催は今年で15回目になりますが、新型コロナ禍により、例年行われているコンサートや講演会の開催は難しくなりました。「ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima 2020」はパネル展を各病院ホームページ上で公開となりました。

新型コロナ感染の拡大により、緩和ケア病棟の運営に大きな影響があり、徳島市民病院と阿南医療センターの緩和ケア病棟が8月から休止しています。感染予防の一環として緩和ケア病棟でのご家族の付き添いやお見舞いが著しく制限されており、がん患者さんのQOLが損なわれている状況です。緩和ケア病棟においてはQOLの確保のために様々な工夫がなされています。例えば、テレビ電話を用いた患者さんとご家族のコミュニケーションの確保など、ITの活用です。コロナ制圧後もこの度の経験を活かして患者・家族・スタッフのコミュニケーションがインターネットで図れるようになると思われます。十分な感染予防を測りつつ、ワクチンや治療法が確立するまでスタッフ一同が力を合わせてこの難局を乗り越える所存です。

ホスピス緩和ケア週間2020のメインテーマは「ケアを必要とする全ての人に緩和ケアを」です。がんのみならず、生命を脅かす全ての疾病に対して、緩和ケアを提供することが、今後の課題です。特に高齢化社会を迎えて急増してくる慢性心不全の患者さんに対する緩和ケアの提供体制の整備が必要です。

2020年は、新しく阿南医療センターに20床の緩和ケア病棟が新設され、近藤内科病院・徳島市民病院・県立三好病院と併せて84床の緩和ケア病棟が県内で整備され、当面の目標が達成されました。今回のパネル展は、この4か所の緩和ケア病棟の他に、がん拠点病院3か所と在宅での緩和ケアを提供している医療機関が参加しています。ぜひ、徳島における緩和ケアの進歩をご覧下さい。

令和2年10月4日
認定NPO法人ホスピス徳島がん基金
理事長 近藤 彰